

2026年3月一般質問 観戦ガイド



1



ガバメントクラウドへの移行に関する
進捗と市民への影響について

2



施設の建設費及びランニングコストが
財政に与える影響と今後の方針について

3



生成AIを活用した職員の業務改善について

菊地けんたの一般質問は、3/10(火) 14:00頃からスタート！

ぜひ大洲市役所5階にお越しください！お待ちしております。

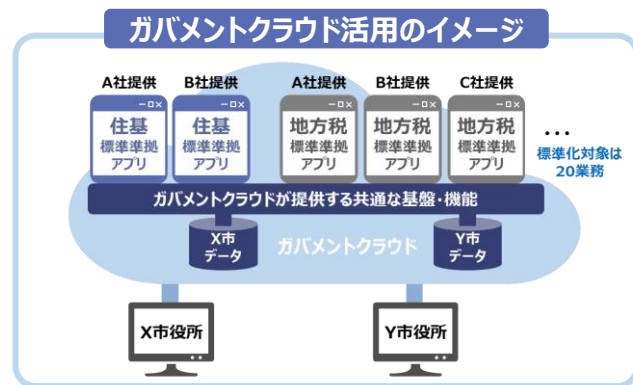
質問①

ガバメントクラウドへの移行に関する進捗と市民への影響について

基幹業務システムのガバメントクラウドへの移行に関して、進捗や市民への影響を問う。

■ 質問の背景

- ガバメントクラウドは、国が整備し、調達・提供する、**政府共通のクラウドサービスの利用環境**
- 国の方針として、各自治体が住民記録・税・福祉などの基幹業務システムを、ガバメントクラウド上で稼働し、国の標準仕様に適合した「標準準拠システム」へ、**原則令和7年度末までに移行**することとされている
- 自治体システムを全国で揃えていくことで、制度改正等による自治体ごとの個別対応を減らすことができる
- ガバメントクラウド移行に関する費用は国の負担対象であるが、運用経費は自治体負担と整理されており、一部自治体では移行前よりも**運用経費が上昇する懸念**が示されている
 - 大洲市における移行に関する費用は約1億4,700万円（令和5年度～令和7年度予算）



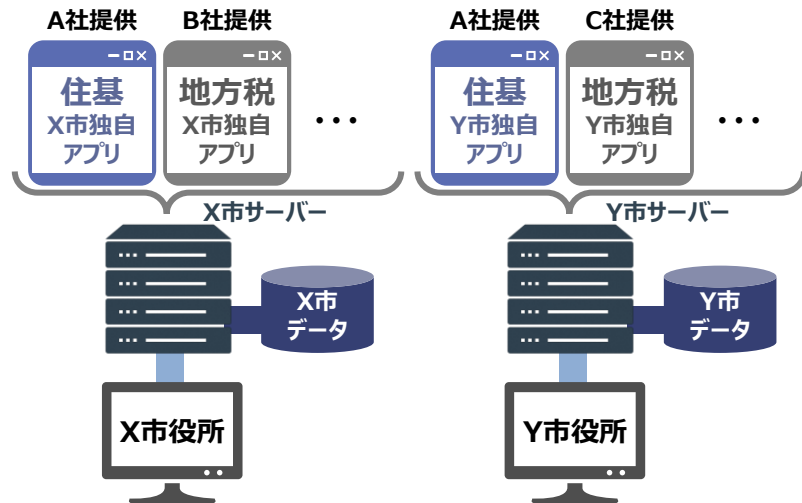
質問

- ガバメントクラウド移行の進捗はいかがか？
- ガバメントクラウド移行による市民の恩恵はあるか？
- ガバメントクラウド移行後の運用経費は増減するか？その要因や対策はあるか？

ガバメントクラウド移行前後の業務アプリケーション利用の概念イメージ

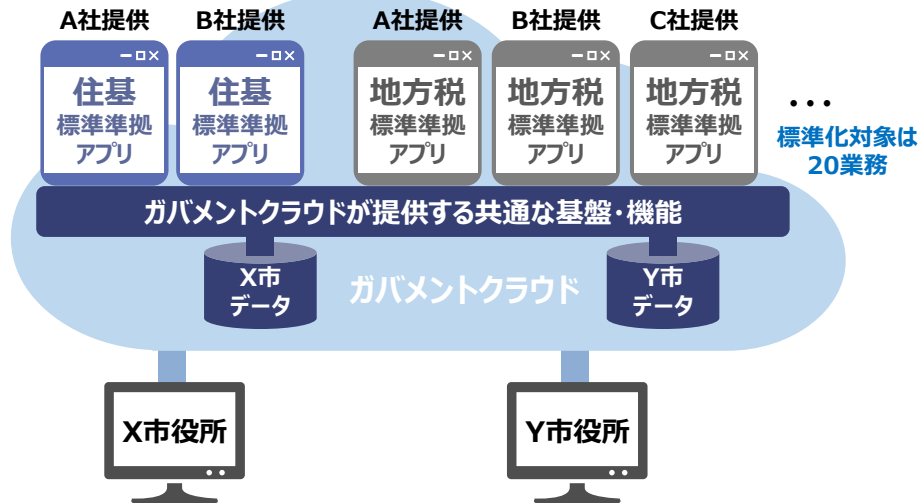
ガバメントクラウドに移行し、標準仕様に準拠したアプリケーションを使うことで、自治体は制度改正等による改修負担を軽減。

<ガバメントクラウド移行前>



- **各自治体が調達したサーバー**でアプリケーションを稼働（自治体がクラウドサーバーを利用するケースもあり）
- アプリケーションは**各自治体独自のカスタマイズ**が多く、制度改正のたびに自治体ごとに要件定義/改修/テスト対応が必要

<ガバメントクラウド移行後>



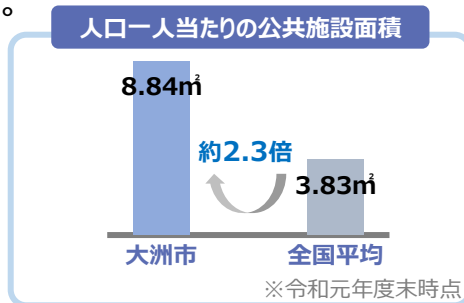
- **国が調達したガバメントクラウド**でアプリケーションを稼働
- 標準仕様書の改定に合わせて**標準準拠アプリが共通改修**されるため、各自治体の個別改修負担は軽減
- 各自治体は複数の標準準拠アプリから自らに最適なものを選択し、調達・利用可能

施設の建設費及びランニングコストが財政に与える影響と今後の方針について

大洲市における大型建設事業のランニングコストを明らかにし、既存施設の統廃合の進捗を問う。

■ 質問の背景

- 市民文化会館建設事業（総事業費約62億円）、長浜港内港埋立事業（総事業費約98億円、うち市負担約25億円）が進行中
- 両事業について、建設費は示されているものの、**事業完了後のランニングコストは未知数**
- 一方、お隣の西予市では令和7年10月に自らを財政危機と位置付けた
 - 背景：①合併後の交付税の縮小、②西日本豪雨やコロナ対応、③**公共施設の維持管理費**、等を理由に財政調整基金が48.3億円（平成28年度末）から約2.8億円（令和7年度期首）に減少
- 大洲市においても①②③は共通課題であり、財政の悪化を心配する声がある
 - 人口一人当たりの公共施設の延床面積は大洲市8.84㎡で、全国平均3.83㎡の約2.3倍（令和元年度末時点）



質問

1. 市民文化会館の建設費が財政（特に財政調整基金）にどのように影響するか？
2. 市民文化会館建設事業、長浜港内港埋立事業のそれぞれについて完成後のランニングコストの見積もりはどうなっているか？（まだの場合はいつ頃に公表される予定か？）
3. 公共施設の統廃合の進捗はいかがか？

生成AIを活用した大洲市職員の業務改善について

生成AIの業務活用に関するこれまでの取組を問い、「有償版の利用」や「情報の取り扱い等を示したガイドラインの活用」をご提案。

■ 質問の背景

- 令和7年12月公表された大洲市DX推進計画アクションプランにおいて、
職員の生成AI利用に関する予算は令和7年度以降0円（前回の令和6年度版までは、年間110万円の予定）
- 令和7年12月一般質問において、生成AIの無料版を利用中であることは把握済みであるが、
無料版は入力情報がAIの学習に利用される可能性等のリスクあり
 - ⇒ 高機能かつセキュリティ上も安心できる有料版を利用すべきでは？
 - 仮に、一般行政部門の386名のうち、半数の職員が1日10分業務を短縮した際に、年間労働日数を240日、時給を3,000円と仮定すれば、年間で約2,300万円の削減効果の可能性
- 総務省は、**自治体が生成AIを業務で利用する際のルール整備**に向け、取り扱う情報の考え方やリスクケース発生時の報告・対処、研修等を整理できる**生成AIシステム利用ガイドライン**のひな型を提示している

DX推進プランにおける生成AI活用に関する予算

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
令和6年度版	1,176,000円	1,100,000円	1,100,000円
令和7年度版	1,176,000円	0円	0円

質問

- 令和7年度以降の予算が0円になった理由は何か？
- 総務省が推奨する生成AIシステム利用ガイドラインを利用する予定はあるか？

参考：出典

出典 No.	質問 No.	出典	内容
1	①	地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化のために検討すべき点について（デジタル庁）： https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/c58162cb-92e5-4a43-9ad5-095b7c45100c/9dfe6497/20221007_policies_local_governments_outline_03.pdf	<ul style="list-style-type: none"> ガバメントクラウドの概要 システム構成図
2	②	大洲市民文化会館実施設計の概要について（大洲市）： https://www.city.ozu.ehime.jp/soshiki/zaisei/66183.html	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館建設事業の予算
3	②	長浜港内港埋立事業基本計画（大洲市）： https://www.city.ozu.ehime.jp/uploaded/life/64950_334654_misc.pdf	<ul style="list-style-type: none"> 長浜港内港埋立事業の予算 ※最新の総事業費98.3億円（うち市負担25.0億円）は令和8年3月定例の議案であり、HP等には未公開
4	②	財政危機脱却に向けた“せいよ変革”宣言（西予市）： https://www.city.seiyo.ehime.jp/material/files/group/6/kikidakky_akugaiyoubann.pdf	<ul style="list-style-type: none"> 西予市の財政状況
5	②	大洲市公共施設等総合管理計画（大洲市）： https://www.city.ozu.ehime.jp/uploaded/life/47845_231517_misc.pdf	<ul style="list-style-type: none"> 大洲市における公共建築物の人口一人当たりの延床面積
6	③	大洲市DX推進計画アクションプラン（大洲市）： https://www.city.ozu.ehime.jp/uploaded/attachment/46089.pdf	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIサービス活用事業の予算
7	③	自治体におけるAI活用・導入ガイドブック＜導入手順編＞（第4版）の公表（総務省）： https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei04_02000155.html	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIシステム利用ガイドラインのひな型